



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2016 - 2017 年度テーマ

R.I. テーマ 「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・ジャーム  
地区ガバナー 上山 昭 治

クラブテーマ 「関心をもって感動を分かち合おう」

クラブ会長 渡 辺 丈 樹



2017 年 4 月 5 日

第 1491 回例会

会長 渡 辺 丈 樹  
幹事 岩 田 幸 一

### 本日の卓話

#### 会員卓話

矢野会員、内田会員、海内会員

### 今後の卓話予定

4/12	クラブフォーラム	クラブ活性化委員会
4/19	夜間例会	11 代目 金原亭馬生 師匠
4/26	炉辺報告	



### 4 月結婚記念日

6 日 (49 周年) 笹生ご夫妻 ・ 21 日 (49 周年) 天笠ご夫妻  
 21 日 (40 周年) 浜中ご夫妻 ・ 25 日 (35 周年) 小林博ご夫妻  
 26 日 (42 周年) 海内ご夫妻 ・ 28 日 (48 周年) 植木ご夫妻  
 29 日 (33 周年) 上野ご夫妻



### 4 月お誕生日祝

8 日 (69 才) 太田富美夫君 27 日 (63 才) 田村 順 二君  
 30 日 (69 才) 海内 栄 一君

## 前回 (3/22 1490 回例会) の記録

### 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 0名  
 ◆ビジター 4名

北分区ガバナー補佐 野生司義光 様  
 北分区幹事 石川 讓 史 様  
 東京中央ロータリークラブ 坂野 茂 様  
 東京青年会議所 台東区委員会 牧 信 真 様

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修正出席率
41 名	0 名	5 名	37 名	3 名	92.50%	1488 回例会修正 欠席 2 名・出席率 95.24%

### 会長報告 < 渡辺会長 >

・ 3 クラブ合同の例会で「健全な心と体」がテーマとなりました。健全な体はわかりませんが健全な心とはどのようなものでしょうか。

卓話では鬱な心を不健全なものとしていたようでした。「不健全な心とはどういう心か」…面白いテーマですね。

### 幹事報告 < 岩田幹事 >

・ 東京上野ロータリークラブからコンサートのご案内が来ております。4 月 18 日 (火) 7:30 から台東区生涯学習センター ミレニアムホールで『和響への誘い』というテーマです。ご興味のある方は、幹事まで

お申出下さい。

・ 例会変更のご案内が来ておりますので事務所でご確認下さい。  
 ・ 来週 3 月 29 日 (水) は定款休会日ですので例会はありません。

## 第9回 理事・役員会 報告

### <会長挨拶>

渡辺会長より「理事役員会も今日を入れてあと4回になりましたので、各理事の皆さんは最後までよろしく願いいたします」との挨拶がありました。

### <審議事項>

1. 平成29年2月度会計報告について(会計浜中)  
浜中会計より2月度の会計報告があり、異議なく承認されました。
2. 米山奨学記念館視察旅行のメーキャップの可否について
  - ・大塚米山奨学委員長より、3月11日に予定している米山奨学記念館の視察旅行についてメーキャップ扱いになるかどうかの確認がありました。
  - ・斉藤前幹事より「従来の当クラブのやり方は、事前に理事会に諮って了承された場合にはメーキャップ扱いにしている」

との説明があり、あらためて理事会で諮ったところ、異議なく了承されました（ただ、今後の課題として、参加者を募集するより前の段階で理事会に諮り、参加者を募る時点では「このイベントはメーキャップ扱いになります」とキッチンと告知できるようにしていくことが確認されました）。

### 3. 1500回例会について

- ・斉藤前幹事より「上原会員から『来る6月21日(水)の例会が当クラブの1500回例会になりますが、何か企画をしなくてもよいのでしょうか?』と問題提起がされていることが伝えられました。
- ・この点につきましては、渡辺会長・岩田幹事に一任で、追って報告をするということになりました。

### <協議事項<報告事項>

特にありませんでした。

## 委員会報告

### <米山奨学委員会 大塚委員長>

- ・先日、行われました米山梅吉記念館見学会ではお天気にも恵まれ皆様のご協力のもと無事終了させて頂きました。会費が余りましたので僅かではございますが返金致します。端数はニコニコとさせて頂きます。

### <ロータリー情報委員会 藤掛委員長>

- ・本年度下半期の炉辺について  
1905年にポールハリスがロータリークラブを設立後、1927年までの約22年間に幾多の議論を経ながらロータリーの本質が形成されます。奉仕の概念としてロータリーの公式標語もこの間に定められます。ロータリーの根幹であるロータリーの目的、公式標語を念頭におき、自己の職業に対する理念、考え方を深めて頂ければと思います。今後のロータリーライフをより充実した楽しいものにしてゆく糧にしてゆく事が出来れば、と思います。
  - 今回の炉辺会合の報告日は4月26日の例会です。

- 炉辺の実施期間は3月24日～4月21日でお願いたします。
- 開催日時、場所が決まりましたら費用、メンバーをR情報委員会の藤掛までお知らせください。
- 書記・発表者の方は議事記録を情報委員会の藤掛までご提出ください。

### <ローターアクト委員会 山尾委員長>

- ・前回にもご案内していますが、3月26日のローターアクト例会をご案内します。
  - 3月26日(日) 午前9時30分～12時
  - 台東区雷門区民館 集会室
  - 「あなたの知らない日本とロシア」  
卓話者：マルゲン・アレクサンダー アクト会員  
なお、ローターアクトの例会に出席のロータリアンはメークアップ扱いとなります。

### <親睦・出席委員会 太田委員長>

- ・本日、米山奨学生ゴー・ティタン・バンさん、6時30分、マノスにて送別会をいたします。場所などわからない方は、私に伝えてください。浅草駅→雷門→松きを左折して1つ目の左角です。

## ニコニコボックス

<北分区ガバナー補佐 <sup>のうす</sup> 野生司義光様、北分区幹事 石川譲史様>

・本年度お世話になり、ありがとうございます。お礼のご挨拶に伺いました。

<渡辺会長、岩田幹事>

・会員卓話、皆様よろしくおねがいします。

<後上、天笠、宮崎、立野、丸岡、山尾、太田、藤掛、植木、小林(雅)、古谷、中村、宮村、上原、高木、永井、尾泉、原田、松本、上野>

・斎藤さん、長島さん、渡辺さん本日の卓話よろしく願いいたします！

<米山梅吉記念館見学会参加者一同>

・先日、行われました米山梅吉記念館見学会の会費余り端数ニコニコ致します。

<山尾、浜中、原田>

・米山梅吉見学会の二次会の残金をニコニコ

します。

<長沼>

・浅野さん、先日の誕生日パーティでは、大変お世話になり、いつもながら誠にありがとうございました。とても美味しかったです。

<宮崎、太田>

・熊本地震復興支援をよろしくお祈いします！

<斎藤、浜中>

・東北復興支援継続を！

<岩戸>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<永井>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

## 三部合同例会 卓話

### 「チャリティ活動の本当の意味」

ミスユニバース 2007 森 理 世 氏

日本ではチャリティ活動の敷居が高いと言われていています。小学校、中学校、高校、日本の学校では「奉仕活動」という言葉にかえられて、教育の一環として行われています。もちろん私が小学生、中学生のころも、「奉仕活動」「ボランティア」という言葉はよく耳にしておりました。けれども、何となく先生や大人の方々の指示に従いながら活動していたような気がします。高校の3年間は、私はカナダに留学していました。カナダの高校を卒業するには、学業の単位を取ることでプラス、48時間のチャリティ活動をしなければいけません。先生方からの指示は一切ありません。自ら計画を立てて行動します。こういったシステムはとても素晴らしいと思います。チャリティ活動と私のご縁は、きっとこの留学からスタートしていると思います。

では、ミスユニバースとしてどういっ

たチャリティ活動をさせていただいたかといいますと、まず本部は私の意見を聞いてくれます。私は、子どもたちの教育・健康を支えていきたいと考えて、難病を抱える子どもたちのサポート、そしてそのご家族の心のケアというチャリティ活動をメインに置きました。

それプラス、ミスユニバースとして毎年必ず行っているのが、エイズとHIVのスポークスウーマンとして世界中を回るということです。エイズ・HIVは難病です。しかし、現代では必ず死に直結するような病気ではありません。でも、まだ間違った情報が流れていたり、その情報のせいで差別を受けている患者様がたくさんいらっしゃいます。それを正す活動をさせていただきました。

振り返ってみますと、約80%がチャリティ活動で、レッドカーペットを歩かせていただいたり、モデルの活動をさせて

いただいたり、いわゆる華やかな舞台に出させていただくのは、ほんの20%でした。この、ほんの20%ばかりが皆様の目にとまり話題的になるのですが、隠されている80%が本当に大切な活動なんです。

あるチャリティ団体と一緒に難病を抱える子どもたちの夢をかなえるという企画がありました。どんな夢でもかなえます。マイケル・ジャクソンに会いたかったら、会えるように全力を尽くして夢をかなえます。宇宙飛行士になりたかったら、宇宙飛行士の気分になれるようなセッティングをします。ミスユニバースという夢があったら、一日だけでもミスユニバースとして輝かせてあげます。

なぜそこまでするかというと、あと少しの命しかないからです。すべての子どもが短い命を終えるわけではありません。たくさんの奇跡とたくさんのサポートにより、病気を克服して学校に戻れる子もいます。ただ、100%大丈夫だと言える状況ではないから、小さな命が尽きるまでに夢をかなえようというわけです。こんなに大人たちが全力でサポートする活動もあるんだと、それはミスユニバースの活動を通して初めて知ったことでした。なぜ今まで知らなかったのだろうと、少し恥ずかしい気持ちにもなりました。

そのとき小学校2年生ぐらいの女の子がいました。夢はミスユニバースになることです。ではその夢をかなえようということで、私がいただいた王冠とたすきを持って会いに行きました。ちょうど7月だったので、七夕の短冊に「ミスユニバースに会えますように」「ミスユニバースになれるように」と書いてありました。本当は直接触れ合って遊んだりする予定でしたが、彼女がちょっと体調を崩してしまい、無菌室のガラス越しに電話で2時間ぐらい話をしました。

その子は、まだ小さな体にたくさん管を通して、常に薬を投与している状態でした。すると副作用で体が膨れてしまったりするわけですが、元気だったときの写真を見せて、「これね、まだ髪の毛があったときなんだよ。私、ミスユニバースになれると思う？」と聞くんです。「なれると思うよ、頑張ろうね。この写真は

いつ撮ったの？」と聞くと、ほんの3カ月前なんです。病が発症してから短期間でこんなに体調が変わってしまうのかと、私自身非常に驚き、戸惑い、何と声をかけていいかわからなかったのが正直なところでした。けれども、ミスユニバースに会えたという喜びを感じてほしかったので、一生懸命、夢と希望を与える言葉をたくさん投げかけました。そして最後は握手をしたかったんですが、ガラス越しなので手を振ることしかできません。そうすると、今でも印象的なのが、その女の子が重い体を上げて自分の足で歩いてきて、ガラスにトンツと手をつけました。ガラス越しにハイタッチをしたんです。これは私が彼女から大きな愛をいただいた瞬間でもありました。

難病を抱える子どもたちをサポートする団体と一緒に活動させていただいたこと、そしてエイズ・HIVのスポークスマン、地球環境にやさしい活動をしている団体と一緒に活動すること、また動物愛護団体、さまざまなチャリティ活動に挑戦する機会がありました。たくさんの経験を経て、チャリティとは一体何だろうと深く考えることが何度もありました。そして、一方通行ではない活動をしていこうと心に決めました。まず相手が何を求めているかをくみ取って、何をしたら役に立つか、常に謙虚な気持ちで、そこに行かせていただいた感謝の気持ちを忘れずに行動することが一番大切だと思います。

今、静岡で母がダンススクールを経営しております。私はその二代目です。ミスユニバースの仕事が終わってからの10年間、多くの生徒様と出会うことができました。私の生徒様で一番年上は90歳です。3年前にストレッチとタップダンスを始めました。自分のペースを守りながら無理なく挑戦するということ。私の母がよく言います。努力、忍耐、根性は自分を裏切らないと。もう一つ自分を裏切らないもの、それは筋肉です。いくつになっても精神力と体力は養うことができます。適度なエクササイズで健全な心と鋼のような体を保ち、奉仕の心を忘れずに日々精進してまいりたいと思います。

## 「ロータリーに入会して良かった」



斎藤彰悟 会員

今回、卓話のテーマはフリーで良いという渡辺会長方針に沿って、今までに約20数名のメンバーの方々が行いました。さて、自分の番になって、何をテーマにするか悩みました。

それぞれの卓話者が、ご自身の職業をベースに卓話をし、それが聞く側にとっては有益だと感じました。例えば保険・医学などの業いとする方々の卓話でした。次に趣味を通じた卓話です。例えば太田さんのゴルフです。私の趣味はゴルフと、スキー（水上スキー）ですが、これらをテーマに卓話が出来るほどには精通しておりません。

そこで、私の職業とも考えましたが、石油製品の販売と運送ということでは、聞いて頂く皆様にとってなかなか役に立つ情報・知識にはならないと思いました。

少し前置きが長くなりましたが、その結果「ロータリーに入会して良かった」というテーマになりました。その理由は、学生時代の友人・ビジネスを通じての友人は多くいますが、ロータリーを通じての友人との違いを感じるようになったからです。私の入会日は1990年1月10日ですが、その後の10年間は、年間出席100%は一度もなく、尚かつ委員長指名をされないくらいの不良会員でした。変わるきっかけは、2004～5年、植木さんの勧めで地区副幹事として地区業務に携わってからです。その後はクラブ内で役職を経験することにより、ロータリーに対する理解も深まり、メンバーの皆様との親睦を通じてさらに世のため、人のためになれるロータリーの神髄に気づかせて頂きました。

最後になりますが、今回の卓話を企画して頂いたことにより、さらにロータリーのことを深く考えるきっかけになりました。渡辺会長に、深く感謝を申し上げ終了とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。



## 「カンボジア留学生の現状」



長 島 資 生 会 員

---

## 「ロータリーソング『奉仕の理想』について」



渡 辺 丈 樹 会 員

この歌は1935年に作られたものです。軍国主義がはびこる世の中で「望むは世界の久遠の平和」という詞を入れた作詞者の勇気。作曲者もこの「平和」という部分だけGコードを使って強調しています。我々の先輩のこの行動に大いなる感動を覚えます。

<今週担当 長沼一雄>